



春季消防演習で放水訓練を行う消防団の皆さん（5月13日）

主な内容

- 小池清彦市長の市政報告  
豪雨と豪雪に対する加茂市の多額の  
財政支出について…………… 27
- 加茂市成人式に266名が出席…………… 89
- 春の叙勲…………… 10
- 中学生武道演武会を開催…………… 11
- 歯の健康「よだれ」…………… 13
- 加茂の風土記「加茂祭りの料理」…………… 14

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう

# 市政報告

加茂市長 小池 清彦

百三十七万円を交付してくれただけでした。

従って、残りの二億一千万円は、加茂市の特別の負担となりました。

## 豪雨と豪雪に対する加茂市の多額の財政支出について

昨年七月末の豪雨と今年の二十六年ぶりの豪雪で、加茂市は、平成二十三年

ほとんど面倒を見てくれないというところがわかりました。

度だけで豪雨関係が一億五千九百万円、豪雪関係が一億八百万円、合わせて二億六千七百万円という特別の多額の財政支出を行わざるを得ませんでした。

しかるに国は、これに対し、五千七

これを少し詳しく申し上げますと、加茂市における昨年七月末豪雨の被害九百八十九箇所のうち、比較的小規模なものも七十七箇所あり、この復旧事業費三億三千万円のうち、加茂

市の負担分が起債等も含めて一億九千八百万円で、この加茂市負担分のうち、一億三千五百万円は、平成二十三年度中に加茂市が現金で支払わなければならなかったものです。

なお、このたびの災害で規模の大きなものも含め、平成二十三年度において加茂市が現金で支出した総額は、一億五千九百万円でありました。

また、国の方針では、被害を受けた方個人が全額負担せよというものが十六箇所・四千七百万円ありましたが、加茂市政は仁の一字、愛情を根本としているところであり、すべて加茂市が負担した次第です。

全体として申し上げますと、昨年七月末の豪雨における加茂市の被害の総額は、九百八十九箇所・二十二億九千八百万円で、そのうち国が負担してくれたものが十一億四千万円、県が負担してくれたものが八億五千九百万円です。しかし、比較的小規模な災害は、約六割は加茂市が負担せねばならず、これを中心とする加茂市の負担額二億六千八百万円（起債を含む）、二十三年度現金支出分一億五千九百万円が、加茂市の財政に重くのしかかっております。これに対して、平成二十三年度の特別交付税交付金の増額分は、四千万円のみでありました。



ず、六十七人の人員削減を行ったのでございました。

しかしながら、豪雨や豪雪に際しての市町村の負担に対しては、国はほとんど面倒を見てくれないことが明らかになった以上、加茂市は、今後さらに誠に不本意な人員削減を続けてお金を捻出し、市民の皆様お一人おひとりのお幸せをしつかりと守ってまいるほかはございません。

以下に、平成十三年に小泉内閣が出現して、露骨な地方切り捨て政策を行って以来、今日までの加茂市の財政的努力と財政状況について、御報告申し上げます。

加茂市の財政的努力と財政状況について

加茂市長 小池清彦

小泉内閣が出現するまでの加茂市の貯金の基金は平成十三年度末で十八億四千七百五十万円ありました。これが小泉、安倍の両内閣により地方交付税が年当たり約十億三千万円も削減され、これに対応するため猛烈な人員削減を行い、経費節減に努めましたが、当然のことながら、加茂市の貯金の基金は急速に減少し、平成二十年度末には二億三千三百万円になってしまいました。ところが、続く福田、麻生及び鳩山内閣により合計で毎年約五億七千万円地方交付税が回復され、これにより平成二十二年度

末に加茂市の貯金的基金は五億千七百三十五万円まで回復したのであります。

ところが、菅内閣で東日本大震災後に再び地方交付税が一億三千万円削減され、十年前に比べ年当たり約五億九千万円削減される状況となりました。その結果、平成二十三年度末の貯金的基金は三億八千七百万円に減る見通しとなったのであります。

ところがさらに、激甚災害の平成二十三年七月新潟・福島豪雨災害によって加茂市は九百八十九箇所二十二億九千八百四十六万円の被害を被り、このうち加茂市の平成二十三年度の負担は一億五千九百十万円にも上るものとなりました。

また、平成二十四年の豪雪により除雪費は一億九千七十五万円に上り、これから地

方交付税算入分八千二百万円を差し引いた約一億八百万円が特別な支出となりました。

したがって、加茂市にとって、この二つの災害により合わせて二億六千七百万円もの負担が必要となったのであります。

けれどもこれに対し、国からは特別地方交付税では平成二十二年度決定額四億五千二百九十七万七千円に対し平成二十三年度決定額四億九千二百八十四万七千円と三千九百八十七万円だけしか増額されませんでした。また、国土交通省からの臨時市町村道除雪費補助金は平成二十二年度の千二百万円に対し平成二十三年度は二千九百五十万円で、その増額分は千七百五十万円でありました。

したがって、この特別地方交付税の増分

三千九百八十七万円と国土交通省の臨時市町村道除雪費補助金の増分千七百五十万円を合わせた合計五千七百三十七万円しか加茂市に交付されないという事態となりました。

このため、国が手当てをしてくれなかった加茂市負担額は約二億一千万円ということとなり、平成二十三年度の貯金的基金の中間の見込み額三億八千七百万円が最終的には一億七千七百万円に減るという計算になりました。

しかしながら節約に努めました結果、平成二十三年度末の貯金的基金は二億三千二百二十三万円となりました。

以上を要するに、豪雨の激甚災害であるが、二十六年ぶりの豪雪であろうが、国

は、市町村の負担に対しては、ほとんど面倒を見てくれないということでもあります。

したがって、我々は、豪雨や豪雪に対応するためには、誠に不本意なことながら、今後さらに人員削減を続けなければならぬということになります。

加茂市といたしましては、このようにしてお金をためながら、今後の豪雨と豪雪に備え、仁の一字、愛情を根本として、断固市民の皆様お一人おひとりのお幸せを守り抜く決意であります。

# かもしの未来を もりあげてくれるかな？ いいかもー



2012 加茂市成人式



五月三日、文化会館で成人式が開催されました。今年の成人式には、平成三年四月二日から平成四年四月一日までに生まれた人たちで、市内の中学校を卒業した人など、三百四十三名です。式典には二百六十六名が出席しました。

式典で小池清彦市長は祝辞の中で、易経から「天行は健なり、君子以て自彊（じきょう）して息まらず」と、論語の中から「仁を以て己が任と為す」の二つの言葉を贈り、新成人の皆さんの活躍を期待しました。

そして、加茂病院の充実と救命



救急センターを設置することで、子育ての環境がさらに良くなり、少子化への方策となることなど、加茂市が一丸となって取り組んでいることを述べました。

また、成人式のこの日が憲法記念日であることにちなみ、「現在の憲法は、平和憲法としてとても優れたものです。この憲法を改正したら、海外派兵を求められ、海外の戦場で日本人が命を落とすことになりかねません。平和国家である日本と、この平和憲法を皆さんが守ってください」と話しました。

新成人を代表して安中利穂さんが「親から見たら、まだまだ子ど





三浦伸一加茂市教育委員長



二十歳の誓いを述べる安中利穂さん



小池清彦加茂市長



高橋禧雄加茂市議会議長



もではありませんが、支えてくれる家族の有り難さや自分の目指すところを二十才という節目で改めて再確認して、またさらに努力していきます」と二十歳の誓いを述べました。

式典後、各中学校ごとに記念撮影を行い、会場を産業センターに移して、新成人の実行委員会が主催するパーティーが開催されました。



# 春の叙勲

公共のために功労があったとして、春の叙勲に

おいて、加茂市から二名の方が受章されました。

その受章の声をうかがいました。

## 瑞宝双光章

(教育功労)



吉川一男さん  
(旭町・71歳)

吉川さんは、昭和三十九年に寺泊中学校(現・長岡市)から平成十三年の三条市立第二中学校校長を退職されるまで、教育現場に立ち続けてきました。採用から退職までの間に、十二校に勤務し「普通の学校教諭にくらべ多い方だと思います」とのことです。

昭和五十七年には、全国でも屈指の大規模校だった燕中学校や、平成七年に当時の山北町の大川谷

中学校へ転任し、翌年、山北中学校に統合されるということもありました。

中学校では、授業のほかに生徒・生活指導が中心でしたが、校内だけでなく、一日の大半を過ごす自宅や家族とのできごとを相談されることが多かったといいます。

また、青少年研修センター指導員のときは、グループワークを取り入れた体験研修が始まったところでテーマや作業方法など手探りで研修プログラムを組み立て、そのことが学校での授業運営につながっていったそうです。

今は、日課となった加茂山公園でのラジオ体操やグラウンドゴルフ、学校ボランティアとしてからだを動かすほか、生涯学習講座の

一受講生として教室の後ろから前を見るようになりましたということとです。

## 瑞宝单光章

(消防功労)



安中弘さん  
(五番町・74歳)

安中さんは、昭和四十三年に「消防ポンプ小屋に近くて、運転免許証を持っている」ということで消防団へと誘われました。

所属する分団は、火災が発生すると消防署といっしょに出動する「第一出動」の分団にあたり、「なかなか大変だった」とのことです。平成に年号が変わるまでの昭和時代、火災は多かったというところで、一時はポンプ車積載のホースが乾かないうちに次の火災が発生するという状況もあったそうです。

入団したところには「かまど検査」といって、分団ごとに一軒一軒、住宅の土間のかまどや台所を見て



回ることも消防団の防火活動でした。現在は住宅事情が変わって、かまどもほとんど見かけなくなり「そのことが火災発生件数が減った一因」とのこと。

平成四年から九年間、消防団長を務めました。消防署との連携や、消防団員数の維持、自然災害応など、社会が大きく変化した中での活動には、団員一人ひとりの理解と連携があったからこそで「そのことが、この受章の理由でしょうか」と話されました。

今は、商売を息子さんに任せ、散歩やワープロでの作業を楽しむ毎日ということとです。

# 中学生武道演武見学会



柔道



## 市内中学校全生徒が 秋の武道授業を見学

五月八日、文化会館で中学校保健体育で行われる武道授業の見学会がありました。市内五校の中学校全生徒が一堂に集まり、今年十月に実施予定の授業で、どの種目を選択するか、実際の演武を見学しました。

武道は、柔道、合気道、剣道、空手道、なぎなた、柳生新陰流剣道の六種目があります。柔道、空手道では、指導される先生と市内の中学生が演武を披露しました。演武会は、生徒が実際に見て、興味を持ったもの、自分に合った



合気道



剣道



なぎなた

種目を選択してもらうためのもので、その種目がどのような動きなのかを見てもらうことを目的としています。授業は、十月から市内の中学校が各学年・種目ごとに集まって、下条体育センターで実施されます。



空手道



柳生新陰流剣道

# 粟ヶ岳山開き



山頂付近は例年にない積雪

2012. 4. 29



四月二十九日、粟ヶ岳の山開きが行われました。この日は、JR加茂駅前から水源地まで無料バスが運行され、春の登山シーズンが始まりました。第二ダムの中央登山道入口で安全祈願を行い、集まった三百人を超える人たちが粟ヶ岳登山を楽しみました。

今年は、大雪の影響で登山道にも残雪があり、服装や装備に十分な注意が必要だそうです。登山道入り口では、体調と装備を確認し、無理せず、楽しい登山にしてくださいと、加茂警察署署員が安全広報していました。この日、粟ヶ岳には四百人を超える人が訪れたそうです。





加茂まつり（5月21日）

御神幸の乳母行列には、五十人を超える赤ちゃんたちが参加しました。健やかに育ちますようにとの願いとともに、沿道からはあたたかいまなざしで見守られていました。



大通り春まつり（5月3日）

あいにくの雨になった今回。駅前では、ミニSLが運行されました。発車のときには、JR加茂駅長さんが見送ってくださり、乗車の子供たちも大喜びでした。

「よだれ」というのは、唾液がうまく飲み込めないため口から流れ出てしまう状態のものです。乳児期前半の赤ちゃんは、日常的に寝ているため、唾液が出ても自然にのどの方に流れて飲み込まれています。お座りができるようになって、身体が起き上がってくると、口の中に唾液がたまり、口を閉じてうまくゴクンができないうちは溜まった唾液が口から流れ出てしまいます。お座りができるようにになったばかりの7カ月頃の赤ちゃんでは、まだ唇を閉じる力が弱いため、溜まった唾液を上手に飲み込めず「よだれ」が多くなるわけです。離乳食が進み、乳歯の前歯も生えてきて、前歯を使ってかみ取ったり、食べ物を取り込んだ後、口を閉じて処理するのが上手になると、溜まった唾液の処理も上手になり「よだれ」は減ってきます。

## 「よだれ」



唾液にはいろいろな働きがあり、口の中を自然にきれいにしてくれる作用（自浄作用）もあります。唾液が分泌され、口の中に溜まった唾液が無意識に飲み込まれることによって食べかすなどが洗い流され口の中がきれいになるわけです。溜まって流れ出てしまう「よだれ」より、飲み込まれる唾液の方が効率がよいといえますが、これも成長の一過程です。鼻の詰まりやすい子供や、口呼吸を覚えてしまい癖になった子供では、普段口を開いたままのことが多いため、唾液が溜まってうまく飲み込めないのが、よだれが長く続いてしまうことがあります。

（加茂市歯科医師会）



# 「魚祭り」とも呼ばれた

## 加茂祭りの料理

加茂祭りの食膳には「魚祭り」と呼ばれるほど魚料理が主役だ。

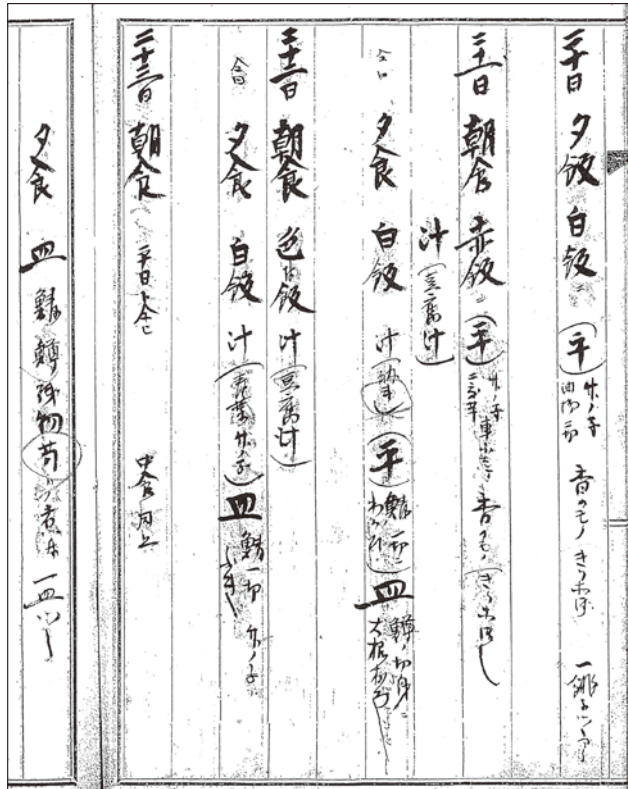
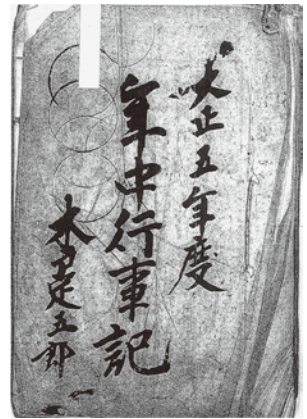
かつては、加茂祭りには、春、信濃川を遡上した川鱒（マス）を食べるものとしていたので、祭り近くになると新潟の魚市場の鱒の価格が急騰したという。近年は、鯛料理が主流で、刺身、焼物、それに塩味の吸い物として出される。

昭和五十年代、市内の鮮魚店が仕入れに集まる加茂魚市場では、宵（よい）宮の前日から川鱒や鯛、ヒラメなど高価な魚が山積みになれ、競り落とされて各店の店頭に並ぶ。「こんなにも沢山の魚が祭りになる

# 加茂の風土記

と食べられるのか、加茂祭りのたんびに驚かされます」と佐藤敏夫氏が述懐する（『加茂魚問屋のあゆみ』より）。

大正五年（一九一六）の大地主「市川家」では、加茂祭りには鱒と鯖（サバ）



市川家文書「年中行事記」：木戸定五郎は岡ノ町に住み、市川家の小作で当時は帳場の親方であったと思われる。二十一日の夕食には「鯖の切り身にわらび」「鱒の切り身に大根おろし」と記述がある。

が出されたが、鯛は出ない。上条祭りの六月十五日の夕食に鯛の刺身が初めて膳に乗った。以下「年中行事記」より。

二十一日 朝食は赤飯にタケノコ・車麩・ジャガイモの煮物と豆腐汁。夕食は鯖（サバ）とワラビの煮物に鱒の焼物。汁は納豆汁。

二十二日 朝食は色付飯（しょうゆ味のタケノコご飯であるか）に豆腐汁。夕食は鯖・タケノコ・フキの煮物に青菜・タケノコの汁。

太平洋の鯖は、秋から冬にかけてが旬でおいしいが、日本海ではこの時期の鯖が旬で安い。

（長谷川昭一）

### 第32回全日本学童野球中越大会予選会結果

期日 四月二十九日・五月三日  
会場 七谷野球場・羽生田野球場  
出場 加茂・田上から六チーム  
優勝 南イーグルス  
準優勝 石川ビクトリーズ

### 第64回加茂市少年野球大会結果

期日 四月二十九日  
会場 七谷野球場・川西野球場  
出場 加茂・田上から六チーム  
優勝 加茂中学校  
準優勝 田上中学校



社会福祉費寄付金  
▽加茂市場協進会（代表関川忠雄さん）から 五万円

### 人口のうごき

5月1日現在  
世帯 10,217 (+12)  
人口 30,137 (-18)  
男 14,546 (-14)  
女 15,591 (-8)  
( )内は前月比  
(4月異動分)  
出生 18 (男10 女 8)  
死亡 37 (男19 女18)  
転出 63 転入 64